

誇れる北中の実現 できる! だれでも! どこまでも!

大津の北に燦然と! よう来た!



キラキラの朝。見た感じ爽やかですが、美咲野方面の朝陽が私を容赦なく照らしつけるのです。

八月二六日(水)の学校再開日は、陽光がさんさんと注ぐキラキラした快晴でした。七時過ぎには、早くも汗だくでしたが…。

「三十九日ぶりに登校する子どもたちの表情はいかに?」と、気合を入れて登校指導に立ちました。この世の終わりのような顔かもしれないと危惧しました。しかし、私は子どもたちを侮っていたようです。ごめんなさい。

七月よりイキイキしとろす!

健康的な顔色、澄んだ瞳、にこやかな表情、届くあいさつの声…、今までで一番良いと思えました。

職員朝会で、連絡や確認事項の後、不登校担当の石丸主幹教諭が、全職員に次のようなことを伝えました。

「今日は様々な不安を抱えて、そして、乗り越えて、登校してきた生徒が多数いるはずですよ。今日は子どもたちそれぞれが登校してきたことを喜ぶことから始めましょう!」

すばらしい。どの職員も深く頷いていました。ありがとう石丸先生。私は何も言う必要がありません。「校長元気で留守がいい」のです。一応、私もそこにいましたが…。

心と体の振り返りシート結果

279名回答(8月27日時点)

質問内容	選択肢…0:ない 1:少しある 2:かなりある 3:非常にある	症状項目	サポート基準値以上の人数
1 なかなか、眠れないことがある		過覚醒	13
2 むしゃくしゃしたり、いらいらしたり、かっとなったりする		再体験	14
3 辛かったことが頭から、離れないことがある		回避・麻痺	14
4 ちょっとしたきっかけで、思い出したくないのに、思い出してしまう			
5 辛かったことを、思い出させる所には近づかないようにしている		マイナス思考	19
6 辛かったことについては、話さないようにしている			
7 自分が悪い(悪かった)と責めてしまうことがある			
8 自分の気持ちを、だれもわかってくれないと思うことがある		再体験・過覚醒	7
9 いやな夢や、こわい夢をみる			
10 「また大変なことが起こるのでは」とずっと考えてしまう			
11 こわくて、おちつかないことがある			
12 なにもやる気がしないことがある		生活ストレス	12
13 頭やお腹が痛かったり、からだの調子が悪い			
14 学校では、楽しいことがいっぱいある			
15 友だちと遊んだり話したりすることが楽しい			
各症状項目のうち、サポート基準値を一つ以上超えた生徒の人数(要支援生徒)			61

さて、夏休みの終わりにとりました「心と体のアンケート」(任意)ですが、昨日までに二七九名が回答し、左上の表のような結果になりました。「症状項目」は、質問内容によって測られる症状のことです。過覚醒、再体験、回避・麻痺はPTSD(心的外傷後ストレス障害)の代表的な症状で、次のような状態です。過覚醒:警戒スイッチが入りっぱなしの状態 再体験:過去がくり返しよみがえる状態 回避・麻痺:避ける・感じにくくなる状態

このシートは0〜3の四段階で回答させ、数値が大きいほど症状が重いとされます。結果を見ますと、いずれかの項目でサポートが必要とされる基準値を上回っているのは六一名です。サポートとは、観察、カウンセリング、受診・治療など、状況によって様々です。現在はこの結果も参考にしながら、子どもたちの様子をつぶさに見ているところです。子どもたちにも悩みを乗り越える力がつくよう、学校・家庭・地域でよってたかって励まし、支援していきましよう。まずは、「よう来た!」と言いたいです。